

2023.2.28

文部科学省 令和4年度 委託事業「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

香川県における専門学校留学生の戦略的受入れ・定着 に向けた体制整備

～コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備～

●コロナ禍を契機として、母国で主にオンラインを通じて学習するためのコンテンツ開発や学修サポート体制を構築するとともに、現地の教育機関などとも連携し、母国での学修を評価し、来日以後の残りの学修、就職支援までをトータルパッケージで支援するモデルを構築する。

1) 香川県ターゲット国との関係づくりアプローチ **ベトナム・台湾・インドネシア・ラオス（新規）**



香川県国際課
香川県国際観光推進室
香川県労働政策課
香川県産業政策課
高松市観光交流課都市交流室
高松市産業振興室
etc



高松商工会議所
香川県経済同友会
香川県デザイン協会
日本観光振興協会四国支部
香川県観光協会
香川ベトナム平和友好協会
かがわ日本インドネシア友好協会
JICA・JETRO
etc



香川県下の大学等
穴吹カレッジ香川留学生支援会
etc

令和4年度 の活動状況

①ベトナム

医療系短期大学などとの新規提携調印 **2校**（ベトナム累計**5校**）
香川留学説明会の実施（大学・日本語教育機関5カ所で開催 動員 **430名**）

香川県の交流都市であるハイフォン市 外務局の尽力によりコロナ禍前より調整していた提携が実現。

また、入国前の日本語教育については外務局の直轄部署が留学の手続きも担う。

来年に向けての展望・課題：

- ・2023年4月生として**1名**が自動車分野の留学を目指し、準備中。
- ・介護人材2023年10月生の留学入国を目標に連携を深めていく。
- ・ハイフォン市以外のエリアについては入国前の日本語力アップを課題として協議をすすめていく。



令和4年度 の活動状況

②台湾

芸術系課程を持つ高等学校 1校と新規の提携（台湾累計4校）
校長の紹介でこの高校のある新北市の教育行政担当者から香川の高校・専門学校との積極的な連携について提案をもらう。

オンラインでの交流はコロナ禍にあった期間も継続されており、昨年度までに調印を終えている提携校を訪問し、今後のカリキュラムの相互研究やインターンシップについての協議を行った。

来年に向けての展望・課題：

- ・日本と同様の若年層の人口減は進んでいる。この点は双方の共通課題として協議・連携をしていく
- ・コロナ禍後の観光人材のインターンシップの再開を地元企業を巻き込みながらすすめる。
- ・香川の専門学校・高等学校の交流をオンラインを含めた手法もふくめ、すすめていく。



令和4年度 の活動状況

③ラオス（新規）

今年度より留学生特に介護人材の獲得を目的として取り組む。
初年度はJICA事業で実績のある香川デザイン協会の人脈を通じ、留学の可能性についてヒアリング調査を行った。

主な訪問先：

（政府機関） 青年革命同盟総帥・教育省大臣・保健省大臣

（日本からの支援機関） JICA・ラオス日本語センター

（教育機関） 日本語学科を持つ大学2校・医療系大学2校

日本語教育を行っている中・高等学校

このほか日本留学経験者へのヒアリング調査を行った。

来年に向けての展望・課題：

他のターゲット国とは日本留学への環境が異なり、自費留学はかなり
厳しく、留学の支援環境の構築が必要。



令和4年度 の活動状況

④インドネシアー1

人的な往来の再開後、もっとも活発に交流が出来た。令和3年度末の時点で24の教育機関と提携が出来ており、今年度はさらに新たに**19校**と提携。（インドネシア累計**43校**）

11月この新規提携校の校長を中心として教育行政担当者とともに20名の訪問団が香川県を訪れ、教育機関・卒業生の働く企業・介護施設を視察、インドネシア出身の在校生との面談を行った。2022年度内に**15名**が入国。2023年4月は**19名**が香川県への留学準備をしている。

具体的な活動：

1) 香川留学説明会

学生・保護者対象：2023年6月より**11校**の高等学校内で実施。

合計で**970名**が参加。

高校校長（SMK・職業高校）対象 約**170名**が参加

2023.2.28

令和4年度 の活動状況

④ インドネシアー 2

具体的な活動：
2) 教育交流

・現地の教育機関での日本留学（介護分野）を控えた学生への事前授業（6月・1月）2回実施

・現地の教育機関とインドネシア国内の高等学校をオンラインで結んだ日本語授業
通常カリキュラム内で実施（週2回・90分×2回）

今後に向けての課題：

インドネシア国内でのオンライン授業に加え、日本側からの聴解・発音に関する授業を組み込んでいく・安定した通信環境の確保が必要。



2023.2.28

令和4年度 の活動状況

④インドネシアー2

具体的な活動：

2) 教育交流

- ・オンラインを通じた日本式介護講座
医療系短期大学と香川県の介護福祉士養成専門学校を
繋いでの日本式介護を理解するための講座
通訳はこの学校出身の在校生
現地の教員・学生からの質問（勉強・生活）コーナーなど

今後に向けての課題：

現地教育機関のカリキュラムの進捗に合わせたタイミングと
内容についての今後も協議を進めながら継続していく。
教育的効果と日本での修学・就労への興味を両立できる
内容を協力して構築する。



2023.2.28

令和4年度 の活動状況

香川県への留学生の就労ビザ取得体制づくりのためのセミナー等の開催・インターンシップ体制の構築（行政・経済団体・行政書士会との連携）

留学生就活生を対象としたセミナー

令和4年11月18日（金）14：00～16：00

「日本で働く。～まだまだ間に合う日本の就活～」

講師：株式会社morisemi代表取締役 帝京大学准教授
森吉弘 氏



一般社団法人 香川県専修学校各種学校連合会

2023.2.28

令和4年度 の活動状況

令和4年 11月11日（金） 外国人留学生就労支援セミナー2022

第1部 「グローバル展開が組織を未来対応させる」

- ・外国人材の受入、コミュニケーション、外国人材の管理、定着育成のポイント、採用方法、
- ・外国人材採用の目的と効果、外国人材雇用の留意点、インターンシップの勧め

講師：原 正紀 様

第2部 行政書士が教える！～就労ビザ取得のポイント

講師：香川県行政書士会 白木 衛 様

企業の採用担当者・学校関係者 44社が参加



令和4年度 の活動状況

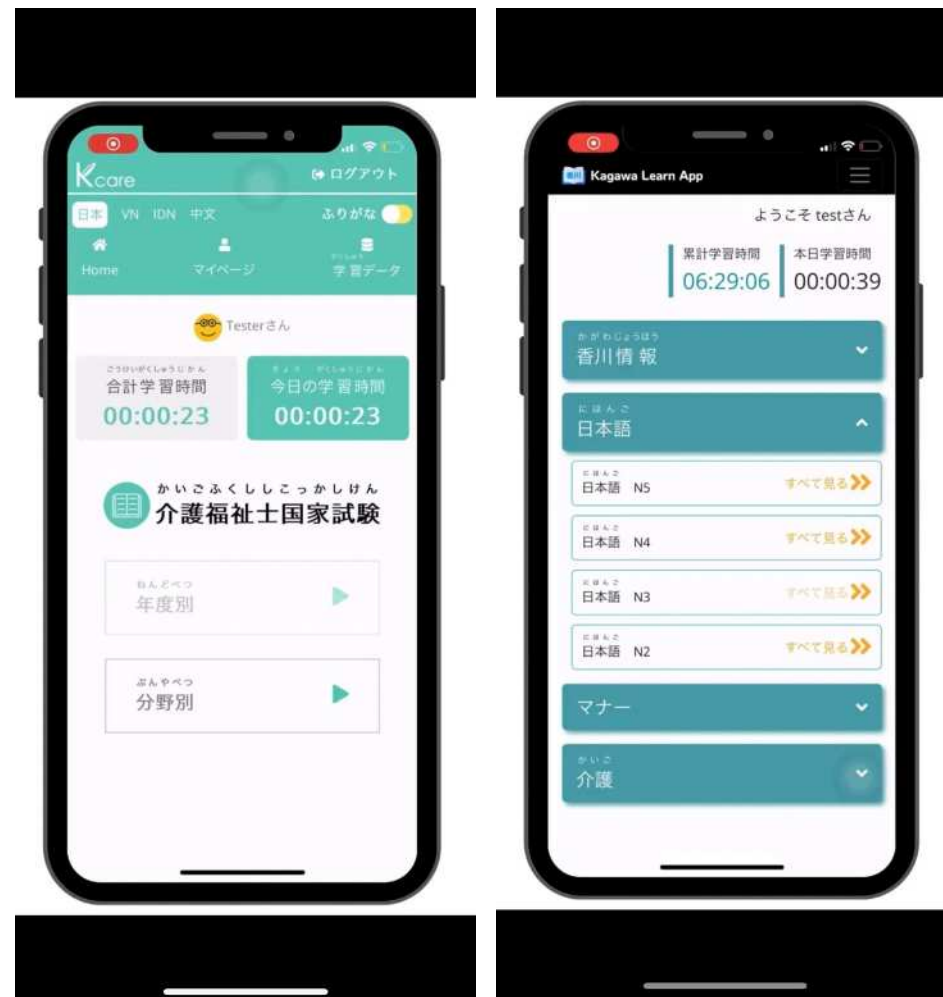
留学生のための日本語・介護教材 アプリ開発

日本語復習教材の開発

- ・令和3年度事業で開発した日本語復習アプリの
JLPT N3-N2レベルの問題を追加

日本式介護理解のためのビデオ教材開発→介護ア プリ教材への変更

- ・入国前の介護教材として事業スパンの中での制作
は教育内容や介護計の法律の改定などを予測する
と今後柔軟にリニューアルすることが困難と判断し、
ターゲット国での入国前教育や来日してからの介護
福祉士国家試験に使用できる過去問題のアプリ化
を実施した。



令和4年度の活動状況

海外での教育拠点となる教育機関との調印

- ベトナム 2校調印 (累計5校)
- 台湾 1校調印 (累計4校)
- インドネシア 19校調印 (累計43校)

